

平成31年度 事業計画書

公益財団法人 加越能育英社

東京都文京区小石川3丁目11番6号

I. 事業計画

1. 石川富山明倫学館の運営

旧寮舎建て替え工事・公益財団法人石川県学生寮との統合の完了から、本年度（平成31年度）は石川富山明倫学館として5年目の運営となる。

本年は、公益財団法人加越能育英社創立140周年・石川富山明倫学館開館111周年の節目に当たり、記念事業を実施する予定である。

(1) 受入学生数	収容人員	120名（石川県80名、富山県40名）
(2) 納付金	館費（月額）	12㎡（約7畳） 30,000円（120室）
	入館金	50,000円
	共益費等（月額）	15,000円
	食費等（月額）	20,000円（定期的に精算）
	保証金（預かり金）	30,000円（退寮時に精算）

(3) 新寮舎の適正な管理

旧寮舎の老朽化進行から、新寮舎建設に着工し平成27年2月に竣工した。昨年度は新寮舎完成後の4年目となり、使用頻度の高い部位での不具合が初めて発生、風呂場脱衣場の床張り替え等の不具合箇所の修復を実施した。特に風呂場は、シャワー等水回り及び鏡等で経年劣化が出だしており、本年度も関連業者との緊密な連携のもとその運用について適正な管理を継続し、各施設を良好に維持すると同時に、各設備の一層の経費節減、運営の効率化に努力する。

(4) 寮生活に対する指導

石川富山明倫学館が寮生一人ひとりの憩いの場であり、学習の場として安心・安全を実感できる寮生活を送れるように引き続き環境整備を図りたい。また、有為な人材としての自主性、自立性、社会性を身につける場としての寮生活となるよう、自治会活動を活性化し、日常の交流や寮行事・近隣行事への参加を促し、人格形成に役立て

ていく。

本年度は石川富山明倫学館開設5年目であり、本年度から院生の入館を停止、新入館生は全て学部生となる。二寮の統合から5年目となり、4年生までは全て石川富山明倫学館入館生で寮生の一体感もさらに進むことから、茂里理事長の指導の下、さらに活発な自治会活動が展開されるよう充分配慮することとする。石川県 富山県及び地元企業の企画行事への継続参画にも配慮する。

寮生指導の一環として、塾生OB懇話会並びに優秀寮生の顕彰を行っている。懇話会は、平成28年度より隔月で開催されている。顕彰制度は、平成21年度から理系2名と文系2名を顕彰することとなっており（顕彰金10万円）、本年度も4名を顕彰する予定である。

2. 奨学金給付

(1) 畠山奨学金の給付

昭和35年以来、荏原畠山記念文化財団（旧畠山文化財団）より毎年助成を受け、石川富山両県出身の理系学生に月額20,000円の畠山奨学金の給付を行ってきた。本年度（平成31年度）も4年生2名、3年生2名、合計4名に給付する予定である。

3. 平成31年度の主な行事予定

- 4月 新入館生オリエンテーション
平成31年度入館式
要覧完成・発送
- 5月 会計・業務監査
第13回塾生OB懇話会
- 6月 第1回理事会
定時評議員会
全国学生寮協議会
スポーツ大会（自治会主催）
- 7月 石川県父母会、富山県父母会
第14回塾生OB懇話会
- 8月 食堂休業（8月上旬から中旬）
- 9月 第15回塾生OB懇話会

- 10月 畠山奨学生選考
加越能育英社創立140周年・石川富山明倫学館開館111周年
記念式典（東京）
- 11月 石川富山明倫学館寮祭（自治会主催）、
加越能育英社創立140周年・石川富山明倫学館開館111周年
記念式典（金沢）
石川・富山県高等学校訪問
畠山一清翁 墓参
第16回塾生OB懇話会
- 12月 募集要項発送
食堂休業（12月下旬）
- 1月 第17回塾生OB懇話会
平成32年度第1回入館選考
- 2月 平成31年度卒館式
畠山育英賞贈呈式
第2回理事会
- 3月 平成32年度第2回入館選考
卒館生退寮完了
食堂休業（3月下旬）